

## 市教研観察会

江澤 芳恵 (YPPスタッフ)

8月18日に千葉市教育研究会(市教研)理科部会の自然観察会が小山で開催され、YPPのメンバーが谷津を案内しました。

参加された先生方は19名で、若い先生方がたくさんいらっしゃいました。理科好きの先生ということで、なんとなく男の先生をイメージしていたのですが、若い女の先生も数名いらっしゃいました。観察は集合場所の水辺の郷公園から小山に移動する途中からもう始まっていて、ヘクソカズラの葉をちぎってにおいをかいでみたり、小山の田んぼに到着するまでにずいぶん時間がかかるほどでした。最初にYPPのお米作りの活動についての説明をし、それからホトケドジョウをはじめ、いろいろな生きものの観察をしながらYPP田んぼへと進みました。

リンドウ広場でちょっと水飲み休憩をしたり、谷津田の生きもの図鑑や谷津田だよりを配ったりした後、あざみ谷(やつ)の観察へと移りました。あざみ谷津でもサンショウの実をかじったりしながら一番奥のコナラの木まで進みました。引き返す道すがら、先生の一人がオニヤンマを捕まえることに成功し、歓声があがっていました。YPP常連の子どもたちも参加し、子どもたちが草笛を鳴らしてみなくて、先生方がまねして吹くような場面もありました。最後に何人かの先生が感想を発表してくださいましたが、いろいろな生きものがいてびっくりしたとか、中には、是非、活動に参加したいという先生もいらっしゃいました。

参加された先生方から感想が寄せられましたのでご紹介します。



最初にスタッフから谷津の紹介(撮影:遠藤敬介)

8月の市教研では、小山町の谷津田の自然をたっぷり観察させていただきました。谷津田に入っただけで驚いたのは、生きものの種類や数の多さです。アカガエル、ホトケドジョウ、タイコウチなど、普段はほとんど見ることでできない生き物がこんなに豊かに観察できる場所は、そう滅多にないと思います。

私も個人的に谷津田で田植え体験をしていますが、谷津田の保護活動は、本当にたくさんのメリットがあると思います。自然環境を守ることだけでなく、生き物や作物など自然の恵みを楽しんだり、何よりも人間が自然の土に足をつけ、自然と一体となりながら生きるという体験が一番の魅力だと思います。

千葉市でのこのような谷津田の取り組みは、本当に貴重な財産だと思います。ぜひ子どもたちにも体験させていきたいです。本当にありがとうございました。

(おゆみ野南小学校教諭 杉野義明)



オニヤンマのヤゴの抜け殻を発見(撮影:遠藤敬介)

この日は真夏の太陽が照りつける暑い日でしたが、谷津田に広がる風景はすがすがしい気持ちにさせてくれました。林縁をパトロールするオニヤンマや、田んぼの稲の間を気持ちよさそうに泳ぐたくさんのカエルなど、たくさんの生き物たちに出会うことができました。実際に生き物を目にしたり、この自然を残していくための取り組みを知ったりすることで、人が手を加えることでできる自然があるということを実感しました。

(扇田小学校教諭 田島明美)

千葉市の教職員は月に一度、教科ごとに市教研と呼ばれる研究会に参加しています。8月の理科：緑区の研修会では、小山町の谷津を見学しました。当日は19名の教職員が参加しました。あすみが丘小7年目ですが、今回はじめて行きました。以前より学校に配布していただいている「谷津田だより」を読ませてもらっていましたが、実際に見学できてよかったです。こんなに近くにこんなに自然の豊かなところがあったことに驚きました。特にアカガエルは、昔よくいたのに最近は滅多に見ていなかったのになつかしかったです。休耕田の存在も知り、あすみが丘小でも活用したいと思いました。

最後に当日講師をしていただきました網代さん、田中さんをはじめとする会のメンバーの皆さん、そしてコーディネートしていただいた江澤さんに御礼申し上げます。

(あすみが丘小学校教諭 遠藤敬介)



観察を終えてふりかえり（撮影：遠藤敬介）

## 谷津田いきもの図鑑 No.33

### 稲に付くカメムシ

くさい匂いを出すことでよく知られているカメムシですが、「カメムシ」という名前の昆虫はいなくて、肩が張った平らな背中がカメの甲羅のように見える昆虫の総称です。カメムシは昆虫の分類で正式には半翅目(はんしもく)の仲間です。「半翅」というのは前ばねの根元半分が硬く(甲羅の部分)、先の半分が柔らかい透明な膜のようにになっていることを指します。カブトムシは前ばねが全部硬いので違う種類になります。

下和田や小山の谷津にはいろいろな種類のカメムシが見られますが、今回紹介するのは稲に付くカメムシのホソハリカメムシとクモヘリカメムシです。いずれもヘリカメムシ科というグループに属しています。恐らく「甲羅」の下半分に張り出したの縁取り(ヘリ)があるのでそう呼ばれているのでしょう。クモヘリはカメムシにしては細身でスリム。ホソハリはクモヘリほど細くなく、肩が尖って針のようになっています。

いずれの種類も田んぼでよく見かけるのは実りの季節。8月頃、出穂してふくらんでいくモミがまだ柔らかい時に中の汁を吸いにやってくるのです。カメムシは同じ半翅目のセミたちのように口がストローのようになっていて、それをモミに差し込んで飲みます。カメムシに吸われるとその部分が玄米になった時に茶色い点として残ってしまい、「斑点米」と呼ばれて販売価格が下がってしまいます。そのために稲に付くカメムシは田んぼの嫌われ者で、毎年その発生状況が広報されています。カメムシは実りの季節以外は草原のイネ科の植物に付いていて、休耕田・放棄田が増えるに従って数が増えているようです。

(高山邦明)



細身のクモヘリカメムシ（撮影 網代春男）



肩が針のようになっているホソハリカメムシ（撮影 網代春男）



モミにストローを刺して汁を飲んでいるホソハリカメムシ（撮影 高山邦明）



# 里山たんけんレポート

## 第 115 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2009年8月2日(日) くもり

今回は生涯学習センター自主企画講座「パパとママの環境講座」の参加者と一緒に谷津田を巡りました。オニヤンマが林縁を行ったり来たりしていましたが今年は未だ少ないようです。コガネグモが網にかかったバッタを一瞬のうちにぐるぐる巻きとるさまには大人も子供も感嘆しきりでした。

田んぼの上には南の国から発生を繰り返しながら北上してくるウスバキトンボが数匹飛び回っていました。こども達はトンボやバッタ、カマキリやガエルの子を捕まえ、手にとって生きものの感触を体感していました。バッタの間ではツマグロイナゴモドキ、ショウリョウバッタ、ヒメギスなど成虫の姿も見られましたがコバネイナゴ、エンマコオロギなどは未だ幼虫の状態でした。アオバハゴロモ、ベッコウハゴロモ、スケバハゴロモなどハゴロモの仲間も目を引きました。クワの枝にはクワカミキリもいました。谷津田を一巡してからカブトムシが10匹以上も押し合いながら樹液をなめているのをたっぷり観察しました。

(参加者 大人 19 名、子ども 7 名； 報告：網代春男)

## エコ体験スクール「生き物と遊ぼう、里山探検とかかし作り」

2009年8月22日(土) 晴れ

千葉市からの受託事業エコ体験スクールが下大和田で開かれました。集まったのは市内の小学校1年から6年までの子どもたち30人。虫採り網や虫かごを持ってやってきた子どもたちから期待でわくわくしている様子が伝わってきます。午前中は3~5人の8つのグループに分かれて谷津を散策しました。厳しい残暑の中でしたが、みんな元気いっぱい。樹液に集まる虫たちを観察したり、オニヤンマを捕まえたり、ハッカのにおいをかいだり、タヌキの足跡を見つけたり、いろいろな体験をしました。中でも一番盛り上がり上っていたのは水路での魚採りかな? 「やったー、メダカ!」や「ザリガニ、ゲット!」と網を入れるたびに歓声があがっていました。

涼しい林の中でお弁当を食べたあとは、かかしづくり、工作、ザリガニつり、自然観察と好きな活動を自由に選ぶプログラムで、思い思いの体験を楽しみました。かかしは4体出来上がり、田んぼに立てました。子どもたちの笑顔と歓声でいっぱいの日でした。

(報告：高山邦明)



最後にかかしと一緒に記念撮影(撮影 田中正彦)

## 第 48 回 小山町 YPP「かかしづくり」

2009年8月29日(土) 晴れ

夏休み最後の土曜日でみんな宿題に追われているのでしょうか? 参加者が少なくてちょっと寂しかったのですが、負けずにかかしづくりをしました。まずは竹藪から竹の切り出しです。子どもたちが一人1本ずつ切りました。竹はのこぎりが滑って切りにくいのですが、少しずつ切れ込みを入れるコツを覚えると調子よくのこぎりが動きはじめます。歯をくいしばってのこぎりを動かし、切り終わると笑顔がポロリ。かかしは男と女の2体にしました。男かかしはサッカー少年の予定が「20世紀少年」の「ともだち」に、女かかしは「カンナ」とタイムリーなかかしになりました。ともだちマークの旗を作ったり、空を指し示す指を軍手で作ったり、アイデアが次々浮かんで楽しいかかしづくりになりました。最後にできあがったかかしを学校田んぼに立てました。これから台風がはじまりますが、かかしがきっとイネを守ってくれることでしょう。



(参加者 大人 5 名、小学生 3 名； 報告：高山邦明)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 8月2日 アキカラマツ、タカサブロウ、カラスウリなどが開花(高山)。
- 8月14日 ジュズダマやミズヒキの花が咲く(齊藤)。
- 8月15日 色づいたノシメトンボを見かける。YPP 田んぼからシオカラトンボが多数羽化(高山)。
- 8月21日 オオタカラしき鳥が谷津の上空を飛ぶ(松下)。
- 8月29日 YPP 田んぼでウスバキトンボが羽化。大椎小田んぼで真っ赤なショウジョウトンボが縄張り。

### 下大和田

- 8月22日 暑い中、ホオジロがさえずる。田んぼの脇にハッカの花が咲く(高山)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

### 第100回 下大和田 YPP「みんなでわいわい！コシヒカリの稲刈り」

いよいよ収穫の季節です。最初に5月に植えたコシヒカリを刈ります。鎌を使った作業ですが、小さなお子さんでも大丈夫ですよ。みんなでにぎやかにサクサク刈りましょう。

脱穀は10月4日(日)(下記、観察会の日)を予定していますが、稲の乾燥具合、天気によって変更の可能性があります。

日時: 2009年9月19日(土) 10:00~14:00 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、軍手、帽子、敷物など。

参加費: 300円(資料代等)

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

### 第49回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

コシヒカリの稲刈りです。大人から子どもまでみんなで力を合わせて元気に刈りましょう。

日時: 2009年9月26日(土) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場  
(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、軍手、帽子、敷物など。

参加費: 100円(資料代など)

主催: ちば環境情報センター

### 第117回 下大和田 10月の谷津田観察会とごみ拾い

秋の花、秋の虫、秋の実りの盛りになりました。秋一色の谷津田を巡ります。午後まで時間の取れる方は田んぼの草取り作業にご協力いただければと思います。

日時: 2009年10月4日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

**編集後記** 地元の方の田んぼでは稲刈りの真っ盛りです。今年は天候不順の影響で各地で例年よりも不作のようです。日照不足になると光を求めて背が高く生長し過ぎて実りの季節にイネが倒れてしまうことが多いそうで、今年は倒伏したイネをよく見かけます。倒れてしまうと水に浸かったモミが芽を出してしまったり、イネがうまく刈れなくなったり大変です。YPPの田んぼも含め、みんな無事稲刈りが終わるといいですね。

(高山邦明)